

2021年4月28日

各位

会社名 澤田ホールディングス株式会社
 代表者 代表取締役社長 上原 悦人
 (コード 8699 JASDAQ)
 問合せ先 取締役 松村 恭也
 TEL 03-4560-0398(代表)

2021年3月期業績と2020年3月期業績との差異並びに 剰余金の配当に関するお知らせ

2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)の業績と前期(2019年4月1日～2020年3月31日)の業績との間に差異が生じました。

また、本日開催の取締役会において、2021年3月31日を基準日とする剰余金の配当を、2021年6月29日開催予定の第64回定時株主総会に付議することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2021年3月期の業績と2020年3月期の業績との差異について (連結業績)

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株式に 帰属する 当期純利益
2021年3月期の連結業績 (A)	57,755	8,871	9,723	△3,015
2020年3月期の連結業績 (B)	61,028	10,901	11,564	7,205
増減額 (C)=(A)-(B)	△3,272	△2,030	△1,841	△10,220
増減率 (%)	△5.4%	△18.6%	△15.9%	－%

(個別業績)

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
2021年3月期の個別業績 (A)	999	687	1,173	106
2020年3月期の個別業績 (B)	1,060	677	713	2,671
増減額 (C)=(A)-(B)	△61	9	459	△2,564
増減率 (%)	△5.8%	1.4%	64.4%	△96.0%

2021年3月期の連結業績は、モンゴル国において2020年1月に施行されました年金担保ローンに関する法律の影響から利率の高い個人向け融資が大きく減少したこと、また、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大による景気悪化により、銀行関連事業が減収減益となったことから、営業収益、営業利益、経常利益は前期比で減少しました。

さらに、2021年4月22日に開示いたしましたとおり、ハーン銀行の留保利益に対する税効果の認識により、法人税等調整額(損)が約74億円計上されたことなどから、結果として、親会社株主に帰属する当期純損失となりました。

個別業績につきましては、ドル建て資産に対する為替差益の計上などにより経常利益は

前期比で約 4.5 億円増加しましたが、当期純利益は、前期において廣濟堂株式等の売却により投資有価証券売却益 24 億円が計上されていたこと、および、当期において関係会社株式評価損 5 億円、関係会社株式売却損 2 億円が計上されたため前期比では大幅な減少となりました。

2. 剰余金の配当の内容

	決定額	直近の配当予想	前期実績 (2020年3月期)
基準日	2021年3月31日	同左	2020年3月31日
1株当たり配当金	12円00銭	未定	12円00銭
配当金総額	475百万円	—	475百万円
効力発生日	2021年6月30日	—	2020年6月29日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

当社は、業績に対応した利益還元を行うことを基本方針としておりますが、今後の事業展開と経営体質の強化、財務内容の充実を図るために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続していく方針であります。

当期の配当につきましては、財務内容及び連結業績等を勘案し、1株当たり普通配当 12 円（前期は 1 株当たり普通配当 10 円、記念配当 2 円）を 2021 年 6 月 29 日開催予定の定時株主総会に付議する予定です。

なお、次期（2022 年 3 月期）の配当につきましては、業績予想を合理的に行うことが困難であることから、予想配当額を開示しておりません。

以 上